

## 保健福祉事務所等では、無料・匿名のエイズ相談・検査を実施

- 各保健福祉事務所等には専用の相談室(個室)があり、医師・保健師等が相談や検査に応じます。
- あなたの秘密やプライバシーは完全に守られます。
- 電話のみの相談は、各保健福祉事務所等で随時受け付けています。(土曜日・日曜日・祝日を除く平日8時30分～17時15分)
- 希望により、他の性感染症の検査も受けられます。
- HIV検査の結果は、当日にお知らせします。
- HIV / 性感染症検査は、事前予約が必要です。希望する保健福祉事務所等に連絡し、日時を確認してください。(夜間の検査も実施しています。)
- インターネットからも簡単に検査を予約できます。予約枠が表示されない場合には、希望する保健福祉事務所等へお問い合わせください。

渋川保健福祉事務所	渋川市金井394	0279-22-4166
伊勢崎保健福祉事務所	伊勢崎市下植木町499	0270-25-5066
安中保健福祉事務所	安中市高別当336-8	027-381-0345
藤岡保健福祉事務所	藤岡市下戸塚2-5	0274-22-1420
富岡保健福祉事務所	富岡市田島343-1	0274-62-1541
吾妻保健福祉事務所	中之条町西中之条183-1	0279-75-3303
利根沼田保健福祉事務所	沼田市薄根町4412	0278-23-2185
太田保健福祉事務所	太田市西本町41-34	0276-31-8243
桐生保健福祉事務所	桐生市相生町2-351	0277-53-4131
館林保健福祉事務所	館林市大街道1-2-25	0276-72-3230
前橋市保健所	前橋市朝日町3-36-17	027-212-8342
高崎市保健所	高崎市高松町5-28	027-381-6112

エイズ相談電話 **027-223-4911**  
県庁感染症・疾病対策課

相談・検査は？  
群馬県ホームページ  
「エイズ相談検査」



## 群馬県ではどこの病院で専門的に診てもらえるか？

- 群馬県では、エイズ患者やHIV感染者を積極的に診療する病院として、表の18病院が「群馬県エイズ診療拠点病院・協力病院」になっています。血液検査で感染がわかった場合、これらの病院でさらに詳しい検査や必要な治療を受けることができます。

※群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
県立心臓血管センター	前橋市亀泉町甲3-12	027-269-7455
地域医療機能推進機構群馬中央病院	前橋市紅雲町1-7-13	027-221-8165
※前橋赤十字病院	前橋市朝倉町389-1	027-265-3333
群馬県済生会前橋病院	前橋市上新田町564-1	027-252-6011
※国立病院機構 高崎総合医療センター	高崎市高松町36	027-322-5901
桐生厚生総合病院	桐生市織姫町6-3	0277-44-7171
伊勢崎市民病院	伊勢崎市連取本町12-1	0270-25-5022
県立精神医療センター	伊勢崎市国定町2-2374	0270-62-3311
※県立がんセンター	太田市高林西町617-1	0276-38-0771
SUBARU健康保険組合太田記念病院	太田市大島町455-1	0276-55-2200
※国立病院機構 渋川医療センター	渋川市白井383	0279-23-1010
県立小児医療センター	渋川市北橋町下箱田779	0279-52-3551
公立藤岡総合病院	藤岡市中栗須813-1	0274-22-3311
公立富岡総合病院	富岡市富岡2073-1	0274-63-2111
原町赤十字病院	吾妻郡東吾妻町原町698	0279-68-2711
国立病院機構 沼田病院	沼田市上原町1551-4	0278-23-2181
公立館林厚生病院	館林市成島町262-1	0276-72-3140

※エイズ診療拠点病院(他はエイズ診療協力病院)

群馬県ホームページ



# AIDS エイズインフォメーション

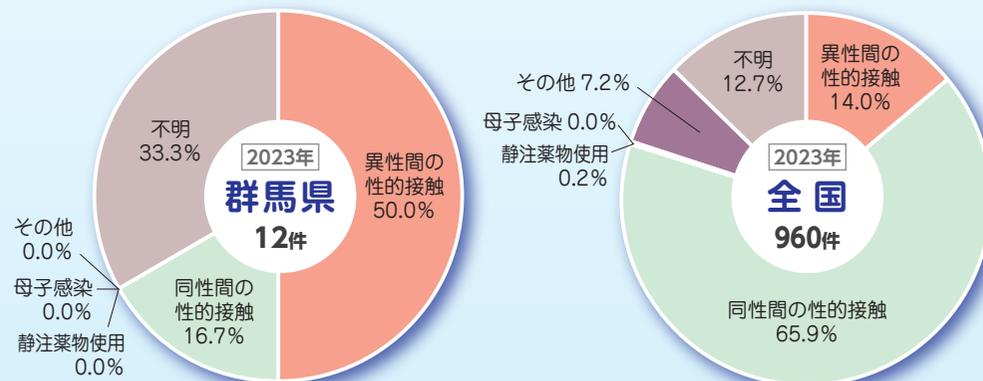
## INFORMATION



### 「レッドリボン」とは…

HIV感染者・エイズ患者に対する理解と支援のシンボルです。このリボンをつけることで、偏見や差別をなくそうという気持ちを表します。もう一度みんなでHIV・エイズについて考えてみましょう。

## HIV感染者・エイズ患者報告例の感染経路別内訳(群馬県・全国)



## 全国の感染者・患者の数(厚生労働省エイズ動向委員会報告)

令和5(2023)年1年間におけるHIV感染者の報告数は669件(前年632件)、エイズ患者の報告数は291件(前年252件)でした。HIV感染者とエイズ患者をあわせた新規報告件数は960件で、前年(884件)より76件の増加となり、1日2~3人がHIV感染/エイズ発症をしていることとなります。

**HIV感染者** … HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているが、エイズをまだ発症していない人  
**エイズ患者** … 免疫力が落ちてきて、エイズ発症の指標とされている日和見感染症などを発症した人

群馬県

## エイズってどんな病気？

- エイズ(AIDS)は、「後天性免疫不全症候群」といい、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによって起こります。
- 人体には感染などから身を守る免疫という仕組みがありますが、HIVはこの免疫を破壊するため、健康な人はかかることのない感染症や病気にかかってしまいます。

## HIVに感染すると症状は？

HIVに感染してもすぐにエイズになるわけではありません。HIVに感染してからエイズを発症するまで5年から10年ほどかかります。



### 急性症状の時期

感染して2～3週間後、約20%の人に、発熱、のどの痛み、関節痛、発疹などが見られます。

### 無症候の時期

症状がない状態が数年続きます。

### エイズ(AIDS)の時期

免疫力が極端に低下し、ニューモシチス肺炎などの健康時にはかからない感染症(日和見感染症という)、悪性腫瘍、神経障害などが現れます。

## 感染はどうしたらわかるの？

HIVに感染しているかどうかは血液検査でしか確認できません。

### HIV検査は2ステップでおこなわれます



### ⚠ 検査で調べられない時期があります

HIVに感染すると、通常、4週間後くらいからHIVに対する抗体が検出できるようになります。また、抗原検査では、2～3週間くらいからHIVの成分が検出できるようになります。よって、感染してから2～3週間以上経過すると、検査で感染がわかる可能性が高くなってきます。検査で陽性になる期間には個人差があるため、感染の可能性のある機会から3か月以内の検査で「陰性」であった場合は、3か月以上たってからの再検査をおすすめします。確認検査の結果が「陽性」であれば、HIVに感染していると言えます。

## 検査を受けて感染がわかった場合どうしたらよいか？

### 大切なことは

- ・ HIV・エイズに関する十分な知識を持つこと
- ・ 医療機関を受診し、主治医と治療方針についてよく話し合い納得のいく治療プログラムを組んで治療を継続することが、大切です。

### 医療機関での治療方法は

- ①ウイルス量や免疫力の定期的な検査
- ②抗HIV薬の内服
- ③合併症の予防及び治療

### 日常生活で注意することは

- ・ 体力(免疫力)を維持する生活スタイルを心掛ける(希望を持つ、規則正しい生活をする、十分な栄養をとる、ストレスをためない、など)
- ・ 他の人に感染させないように、予防手段をとる



### HIVが大量に存在するのは

- ・ 精液及び膺分泌液
- ・ 血液

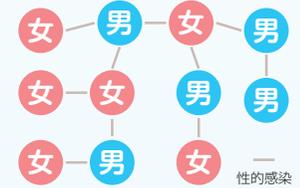
### 感染のルートは次の3つです

- ①性行為感染  
(性交・オーラルセックス(口腔性交)・肛門、性器具の共用など)
- ②血液感染(薬物注射の回し打ちなど)
- ③母子感染(感染している母から生まれる子)

- お母さんがHIVに感染していても、抗HIV薬の服用や、帝王切開による出産、育児用ミルクで育てるなどの対策により、赤ちゃんへの感染を防ぐことができます。妊娠がわかったら、必ず医療機関へ受診し、検査を受けましょう。

### HIVが広まる仕組み

1回でも正確な予防をしないで性行為をすると、誰でも感染の可能性があります。不安なことがあれば相談・検査しましょう。



## 感染を予防するためには？

HIVは感染力が弱いウイルスです。健康な皮膚に触れただけでは感染しません。ウイルスを含んでいる精液や膺分泌液、血液が粘膜や傷口に付着し、一定量のウイルスが体内に入ることによって感染します。

### 性行為での感染を防ぐために大切なこと

- No Sex** (性行為をしない)
- Steady Sex** (決まったパートナーとだけ)
- Safer Sex** (安全な方法で)

いつでも  
感染防止を意識した  
性行為を  
心がけましょう！



- コンドームはエイズや他の性感染症の予防に有効です。性行為の最初から最後まで破れないように、はずれないように正しく使うことが大切です。
- 性感染症にかかっているとHIV感染の危険も高くなります。早めに治療しましょう。